

I 平成28年度 事業計画

第1 基本方針等

1 基本方針

当財団の目的である「市民のため、教育及び文化に関する事業を総合的に振興することにより、心豊かで活力に満ちた市民生活の向上に寄与する」ことを目指すとともに、千葉市を補完する団体として「千葉市生涯学習推進計画」及び「千葉市文化芸術振興計画」等を踏まえ、「公益財団法人千葉市教育振興財団生涯学習推進ビジョン」に基づき、各種事業の積極的な展開を図る。

また、平成28年度は、新たな指定管理期間の初年度であり、これまでの実績を生かし事業を進めるとともに、多様化する社会の動向や市民ニーズに対応した新たな事業に取り組むなど、より一層の市民サービス向上を目指す。

2 経営目標

- (1) 地域資源や職員の専門性、蓄積されたノウハウを生かし、多様な市民ニーズに対応した適切な生涯学習、美術及び文化財に関する事業を実施し、良質なサービスを市民に提供します。
- (2) 地域の人材を発掘・育成するとともに、市民の学習活動の成果が「暮らし」と「まち」の創造に繋がる地域活動を支援します。
- (3) 当財団が管理運営する施設を核としたネットワーク構築を目指し、各種関係機関等との連携を図っていきます。
- (4) 積極的に地域への情報発信を行い地域との関わりを深めることで、地域住民の信頼と理解を得るとともに、市民に必要とされ地域に愛される財団として継続的な発展を目指します。
- (5) 公益財団法人としての社会的責任及び千葉市外郭団体が有すべき公共性・規範性・公正性を踏まえ、コンプライアンスの向上に取り組みます。
- (6) 独立した法人として自律的・安定的な経営を進めるため、継続して収益の確保及び費用の節減に努め、事業を効率的・効果的に実施します。

事業名称	内 容	予定回数
	<p>発行部数については配布先を精査し、より効率的な情報提供に努める。</p> <p>夏休み前に発行する7月号は、市内小・中・特別支援学校の全児童・生徒に配布し、学校外での学習活動への参加を促す。</p> <p>[配布・配架先等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所、公民館、生涯学習施設等 ・ホームページで公開 <p>(3) まなびフェスタ等での専門学校等の出展</p> <p>(4) 生涯学習センターホームページの運用</p> <p>従来の生涯学習情報提供サービス「ちばまなびネット」を生涯学習センターホームページに統合し、利用者に分かりやすいホームページの作成に努め、生涯学習情報を総合的に提供する。</p> <p>市政だよりに掲載される講座・イベント情報のほか、市政だより以外の案内情報について、生涯学習に関する情報を内容ごとに分類し、市政だより発行時期に合わせて公開する。</p> <p>また、随時情報を更新し、常に最新の情報を提供する。</p> <p>(5) 企画展示【拡充】</p> <p>ちば生涯学習ボランティアセンター登録者の活動を市民にPRするため、生涯学習広場付近の展示ケースや地下1階フリースペースで、活動紹介パネルや、ボランティア活動の作品等を展示する。</p>	6回
生涯学習関連図書資料の収集	<p>生涯学習・社会教育関係者の資質向上を図る機会を提供するとともに、生涯学習・社会教育の研究、振興に寄与することを目的として、収集した専門図書、行政資料等を閲覧に供する。</p>	
	<p>1 専門情報の収集・整備</p> <p>生涯学習・社会教育に関する図書、逐次刊行物、行政資料、関係機関・団体の資料を収集・整理する。図書整備は、適正な蔵書構成の実現を図るため、図書整備方針に基づき実施する。</p> <p>2 調査・資料室の運営</p> <p>生涯学習相談員が、調査・資料室のレファレンス業務に対応する。生涯学習関連資料は学習相談に活用する。</p> <p>収集した図書等については、禁貸出資料を除き貸出しを実施する。</p>	

事業名称	内 容	予定回数
	<p>[開室時間] 生涯学習センター開館日の 9時から17時まで</p> <p>[貸出対象者] 千葉市職員、高等教育機関職員、 施設ボランティア、財団職員</p> <p>3 蔵書管理システムの運用・管理 収集した図書等の書誌情報を蔵書管理システムに登録し、 適正に管理する。 引き続きホームページでの検索を可能にする。</p>	
生涯学習相談	<p>相談者の生涯学習活動が更に発展していくことを目的に、市民の生涯学習に関する相談に対し、きめ細やかな対応を行う。</p> <p>1 生涯学習相談員による相談の実施</p> <p>(1) 生涯学習相談 面談や電話、ファックス、メールで、相談者が学習活動を行う中での問題や悩みを聞き、専門の生涯学習相談員が学習情報の提供等によりその解決へ向けた助言をする。</p> <p>(2) ボランティアコーディネート 市民の学習活動を支援するとともに、ちば生涯学習ボランティアセンター登録ボランティアの学習成果発表の場を提供するため、ボランティア依頼者、登録ボランティア、相談員の3者で面談し、相談員が、ボランティア依頼者と登録ボランティアの調整を行う。</p> <p>(3) 生涯学習出前相談 生涯学習相談事業のPRを図るため、区役所、きぼーる、ハーモニープラザ、公民館等で、生涯学習相談を実施する。</p> <p>2 生涯学習相談員の養成 生涯学習に関する専門的な知識や技能を習得するため、内部研修を年1回実施するとともに、外部機関の専門研修を活用し、相談員の資質向上を図る。</p>	

(イ)生涯学習に関する講座、講演会等の開催事業

千葉市の持つ魅力を市民に伝えるため、「ちばカレッジ（千葉市の歴史や文化、地域の特性等を踏まえた学習）」のほか、郷土「ちば」に関する事業の推進に取り組み、郷土「ちば」を学び創造する学習機会を提供する。

また、市民一人ひとりの生涯学習活動への支援及び学習ニーズに応えられるよう、多様なテーマの学習プログラムを展開するとともに、より主体性の高い学習に繋がっていくよう講座・講演会等を企画・実施する。

事業名称	内 容	
「ちばカレッジ」	「ちば」に関わる事象を学習テーマとした講座を実施する。	
	講座名等	予定回数
	1 ちばd e 体験	10回
2 ちば物語 わたしのちばを考える	10回	
現代的課題学習	多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて取り組むテーマや5年間継続して重点的に取り組むテーマとしてキャリア教育の支援、家庭教育の充実に関する支援など、時代や社会の要請、市民ニーズに対応した多種多様な課題に関する講座等を、千葉市中央図書館、千葉市こども未来局等の関係機関と連携・協力して実施する。	
	講座名等	予定回数
	1 多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて取り組むテーマ	
	(1) 地球環境の保全【新規】	1回
	(2) 資源エネルギー問題【新規】	1回
	(3) スポーツ振興【新規】	1回
	(4) 少子・超高齢社会の進展	9回
	(5) 健康づくり	4回
	(6) 国際理解	1回
	2 キャリア教育の支援	
(1) キャリアプランニング講座【新規】	7回	
(2) 子どものハローワーク講座	1回	
3 家庭教育の充実に関する支援		
(1) 家庭教育講座	8回	
(2) わらべうたと絵本の会	24回	
(3) 親子であそぼう	3回	
(4) 孫育ち講座	2回	
(5) 子ども読書講座	2回	
(6) 子育て講演会	3回	
4 青少年の健全育成の支援		
(1) 子どもチャレンジ教室【拡充】	26回	

事業名称	内 容		
	(2) 青少年の日関連事業	1回	
	(3) 子ども読書まつり関連事業	1回	
	(4) こども未来局連携事業【新規】	1回	
郷土に関する事業	千葉県ならではの特色ある歴史、文化、自然などをテーマにした多彩な学習プログラムを、千葉県立加曽利貝塚博物館、千葉県立郷土博物館、千葉県埋蔵文化財調査センターと連携・協力して実施することにより、郷土理解、郷土愛を深める。		
	講 座 名 等		予定回数
	1	ちば縄文フェスタ連携事業	
		(1) ちば縄文フェスタ開会基調講演会	1回
		(2) 千葉県遺跡発表会	1回
		(3) 千葉県遺跡発表会アトリウム展示	1回
		(4) 古代の生活にふれる体験教室	1回
	2	市民向け歴史講座（埋文はじめて講座）	2回
	3	大人のための社会科見学	1回
	4	子ども向け地域学講座（千葉県ものしり検定）	3回
5	市民向け地域学講座【拡充】	6回	
6	埋蔵文化財に関する展示	2回	
7	加曽利貝塚博物館との連携講座	10回	
8	郷土博物館との連携講座【新規】	3回	

(ウ)指導者等養成事業

生涯学習の推進には「人づくり」（人材養成）が重要であるという認識に立ち、コミュニケーション力、コーディネート力のある人材の育成を図る。多様な学習活動や地域活動において求められる能力を高める研修を行い、実践に繋がるような支援等を行う。

事業名称	内 容		
指導者の養成	地域の生涯学習活動を支援するため、市民、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。		
	講 座 名 等		予定回数
	1	生涯学習指導者研修 (1) 基礎研修	2回

事業名称	内 容	
	(2) 実践研修 (3) 学校・地域支援者研修【拡充】 2 生涯学習施設職員研修（公民館職員研修） 3 生涯学習コーディネーターの養成（地域コーディネーター養成講座）	3回 4回 5回 1回
学習ボランティア活動の支援	当センターをはじめ、市内生涯学習施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、施設ボランティア（まなびサポーター）の活動を支援する。	
	講座名等	予定回数
	1 施設ボランティア（まなびサポーター）養成 (1) 施設ボランティアの養成基礎研修 (2) 施設ボランティアフォローアップ研修 2 学習ボランティア活動支援 (1) まなびサポーター（デジカメ分野）による「デジカメ相談会」 (2) まなびサポーター（パソコン分野）による「パソコン相談コーナー」 (3) まなびサポーター（映像記録分野）による「ビデオ撮影・編集相談会」 (4) まなびサポーター（講座支援分野）による市民向け講座 (5) まなびサポーター（映像記録分野）の活動 (6) まなびサポーター（上映会分野）の活動	1回 1回 22回 55回 10回 4回 随時 79回
ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	学習成果の活用を進め、ボランティアとして自身の知識・経験を地域社会で役立てたい市民と指導者や協力者が見つからない学習活動を希望する市民との橋渡しをする。 なお、ボランティアコーディネートの件数を平成32年度に年間260件を目標とし、一層の利用促進を図る。	
	講座名等	予定回数
	1 生涯学習ボランティアの登録受付・登録者名簿の作成・配布 2 登録ボランティアが編集する「情報紙」発行の支援	1回 3回

事業名称	内 容		
	3 ちば生涯学習ボランティアセンター登録者説明会	1回	
	4 ちば生涯学習ボランティアセンター登録者研修	2回	
	5 ちば生涯学習ボランティアセンターの普及・利用促進		
	6 ボランティアフェアの開催	1回	
研修生等の受入れ	教職員の社会体験派遣研修、大学生の社会教育実習、インターンシップ及び中学生の職場体験学習の場を提供する。		
	講 座 名 等		予定回数
	1 社会体験派遣研修（教職員）		随時
	2 社会教育実習（大学生）		随時
	3 インターンシップ（大学生、高校生）		随時
4 職場体験学習（中学生）		随時	

(エ)生涯学習に関する調査及び研究事業

市民ニーズや時代の要請に対応した学習活動を推進するための調査研究を行い、市民の生涯学習活動に関する実態等を把握し、報告書を関係機関へ配布する。調査研究結果については、ホームページに公開して市民に情報を提供するとともに、次年度の学習プログラムの改善や生涯学習センター事業に活用する。

(オ)メディア学習事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚ライブラリーの管理・運営、映画会の開催等の視聴覚事業を実施するとともに、Web学習体験等の視聴覚事業を実施することにより、メディア学習事業の普及・推進を図る。

また、情報化社会の進展に対応するために、メディアリテラシーに関する学習や情報端末機器の操作方法等に関する講座を実施する。

事業名称	内 容		
パソコン講座	市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。		
	講 座 名 等		予定回数
	1 初級パソコン講座		
	(1) 公民館出前パソコン講座（ワード・エクセル）		188回
	(2) 入門講座		5回

事業名称	内 容	
	(3) 子ども向け講座 (4) シニア向け講座【新規】 2 中級パソコン講座 (1) デジタルカメラの講座 (2) ワード講座 (3) エクセル講座 (4) パワーポイント講座 (5) 画像の編集活用講座 3 上級パソコン講座 (1) ホームページ作成講座 (2) エクセル講座（応用編） (3) ワード講座（応用編） (4) パワーポイント講座（応用編） 4 デジタルビデオ編集講座 5 市民自主企画パソコン講座 6 施設ボランティアによる講座	5回 4回 12回 12回 12回 6回 12回 10回 6回 6回 3回 6回 40回 116回
視聴覚事業	<p>高い学習効果がある視聴覚教材を活用した教育・学習活動を推進するとともに、地域の生涯学習の促進を図ることを目的として、視聴覚ライブラリーの運営及び収集・管理、16ミリ映写機操作講習会、上映会、Web学習体験を実施する。</p>	
	講座名等	予定回数
	1 視聴覚ライブラリーの運営（16ミリフィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や公民館等へ貸出し）	通年
	2 視聴覚ライブラリーの収集・管理（16ミリフィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理）	通年
	3 16ミリ映写機操作講習会	1回
	4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施	
	(1) 木曜名画座	24回
	(2) 月曜名画座	24回
	(3) 親子アニメ上映会	24回

事業名称	内 容	
	(4) 夏休み子ども上映会	2回
	(5) 地域交流幼児向け上映会	6回
	(6) 出前上映会	5回
	5 Web学習体験の実施【新規】	通年
メディアリテラシーに関する学習	インターネットや携帯電話等の情報ツールを安全・安心に利用するための講座を実施する。	
	講座名等	予定回数
	1 情報ツールの適切な利用方法に関する講座	2回
情報端末機器の操作方法等に関する講座	携帯電話等の情報端末機器の機能や操作方法を身につける講座を実施する。	
	講座名等	予定回数
	1 情報端末機器の操作講習	3回

(カ)生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主企画講座の実施等、市民の自主的な活動を支援するとともに、市民の更なる学習の向上を図るため、学習成果の発表の場を提供する。

事業名称	内 容	
市民の学習活動への支援	地域で活動するNPO、ボランティアグループ等の市民団体の育成を目的に、市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。また、講座運営のノウハウなどの個別相談にも対応する。	
	講座名等	予定回数
	1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助 (1) 市民自主企画講座（公募）	36回
学習成果の発表の機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、多くの市民への生涯学習の啓発や相互交流を図るため、学習成果の発表の場を提供する。	
	講座名等	予定回数
	1 まなびフェスタの企画・実施（12月3日、4日）	2回
	2 学習成果の発表の機会の提供 (1) 高等学校演劇発表会 (2) 舞台照明講座	16回 2回

事業名称	内 容	
	3 鑑賞機会の提供	
	(1) やすらぎのアトリウムコンサート【拡充】	5回
	(2) けやきコンサート【拡充】	5回

イ 施設管理業務

(ア)開館日・開館時間

次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は午前9時～午後9時とする。

- ・毎月第4月曜日（祝日法の休日にあたる場合は、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

(イ)施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の利用受付・貸出しを行う。

物品の販売その他の営利を目的として利用する場合の貸出しは収益事業とする。【別掲（p.39）】なお、利用率の目標は、前年度比0.5ポイント増を目指す。

㊦ ちば施設予約システムによる施設予約受付業務

- a ちば施設予約システムにより、施設予約の申請の簡略化を図る。
- b ちば施設予約システムにより、パソコンや携帯電話で予約状況が確認でき、仮予約することができる。

㊧ 施設名の変更

利用者に分かりやすく、適切な施設名にするため、下記のとおり施設名を変更する。

a 「メディアエッグ」⇒「小ホール」

どのような施設なのか、何に使える施設なのかが名称を聞いただけでは分かりにくく、ホール機能が利用者に伝わりづらかったため、2階のホールに比して規模が小さいことから「小ホール」と変更する。

b 「AV調整室」⇒「多目的室」

AV機器を使う利用以外に、会議等で利用できるよう運用を変えたことで、様々な用途での利用が増え、実態として多目的での利用となったため「多目的室」と変更する。

㊨ 利用料金表

a 施設利用料金

施設名	区分	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	夜間 18:00～21:00	全日 9:00～21:00
	ホール	(平日)	13,110円	18,170円	13,110円
	(土日祝)	13,620円	24,990円	13,620円	52,000円

施設名	区 分				
	午 前 9:00～12:00	午後A 12:30～15:00	午後B 15:30～18:00	夜 間 18:30～21:00	全 日 9:00～21:00
研修室 1 / 2 / 3	2,340 円	2,190 円	2,190 円	2,190 円	8,500 円
大研修室	6,640 円	6,270 円	6,270 円	6,270 円	25,000 円
工芸研修室	1,950 円	1,820 円	1,820 円	1,820 円	7,410 円
小会議室	1,480 円	1,370 円	1,370 円	1,370 円	5,500 円
特別会議室	3,120 円	2,920 円	2,920 円	2,920 円	11,500 円
控室のみ	740 円	680 円	680 円	680 円	2,700 円
和室	2,360 円	2,210 円	2,210 円	2,210 円	8,500 円
小ホール	4,660 円	4,320 円	4,320 円	4,320 円	17,630 円
パソコン学習室	5,950 円	5,600 円	5,600 円	5,600 円	22,500 円
スタジオ	3,530 円	3,320 円	3,320 円	3,320 円	13,000 円
多目的室	1,110 円	1,020 円	1,020 円	1,020 円	4,000 円
映像音声加工編集ブース	ブース時間貸し・10カ所（1時間あたり160円）				
アナウンスブース	330 円	300 円	300 円	300 円	1,200 円
音楽スタジオ	3,460 円	3,260 円	3,260 円	3,260 円	13,000 円
デジタル音楽室 1・2	260 円	230 円	230 円	230 円	900 円

施設名	区 分		
	A区分 9:00～15:00	B区分 16:00～21:00	全日 9:00～21:00
食文化研修室	3,000 円	2,500 円	5,000 円

※入場料を徴収する場合は、その額に応じて20～60%の割増料金を徴収する。

b 附属設備利用料金

区分	品目	金額 各1区分につき
舞 台 設 備	ホール照明セット	2,670 円
	ホール音響セット	3,240 円
	演台・花台	520 円
	会議机	200 円
	椅子	50 円
	コントラバス用椅子	100 円
	ピアノ椅子	300 円
	指揮者用譜面台	150 円
	演奏者用譜面台	50 円
	指揮台	300 円
	山台（平台）	5,920 円
	プログラムスタンド	100 円
映 像 設 備	ビデオプロジェクター、スライドプロジェクター、OHP、書画カメラ	1,000 円
	大型プロジェクター	1,930 円
	スクリーン（ホール専用370インチ）	850 円
	スクリーン	200 円
	AVワゴン	1,200 円
	16ミリ映画フィルムコンバーター	1,830 円
音 響 設 備	有線マイク・マイクスタンドセット	230 円
	ワイヤレスマイクセット	500 円
	カセットデッキ（CD、MD、カセット）	200 円
	移動用音響調整卓	2,680 円
	周辺機器	1,280 円

区分	品目	金額 各1区分につき
楽器	国産フルコンピアノ	6,480円
	電子ピアノ（音楽スタジオ専用）	850円
	楽器・アンプセット（ドラムス、シンセサイザー、ベースアンプ、ギターアンプ）	1,610円
その他	電子白板	430円
	展示用パネル、白板	100円

⑤ 減免基準及び減免額

- a 障害者又は障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- b 施設の利用促進を図るため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
- (a) ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
- (b) 以下の施設を直前（当日～6日前）に申し込み、使用する場合
- ・ 研修室1/2/3 ・ 大研修室 ・ 食文化研修室 ・ 和室
 - ・ 特別会議室 ・ 小会議室 ・ パソコン学習室 ・ 音楽スタジオ
 - ・ 多目的室
- c 施設の利用促進を特に図るため、工芸研修室、スタジオ、小ホールについて、直前（当日～6日前）に申し込み、使用する場合、利用料金を下記のとおりとする。

施設名	区分	午前 9:00～12:00	午後A 12:30～15:00	午後B 15:30～18:00	夜間 18:30～21:00	全日 9:00～21:00
	工芸研修室		770円	710円	710円	710円
スタジオ		770円	710円	710円	710円	2,800円
小ホール		770円	710円	710円	710円	2,800円

(ウ) 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の利用者から、使用料を徴収し、千葉市教育委員会の指定する金融機関に翌営業日に納入する。

(エ) 地下1階フリースペースの運用【新規】

平成28年度から、地下1階のマルチメディア体験ブースをボランティア活用の場や展示・上映会等多目的に利用できるフリースペースへと改修し、様々なニーズに応じた多様な活用を行う。

(オ) その他の業務

- ㊦ 施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- ㊧ 施設利用促進のため、ホームページの運営をはじめとして施設案内パンフレット、情報紙等による広報活動を、積極的かつ効果的に行う。
- ㊨ 各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。

- ㊦ 新たに従事するスタッフに対しては窓口対応研修を、その他全スタッフを対象とした研修を随時実施する。
- ㊧ その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応する。

ウ 施設維持管理業務

建築物施設保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設維持管理業務、環境衛生管理業務及び備品等保守管理業務を行う。

エ 利用者懇談会

地域の方々や利用者、学識経験者との率直な意見交換の場として、「千葉市生涯学習センター利用者懇談会」を開催して、施設に対する意見やニーズの把握に努める。

② 自主事業

千葉市生涯学習センターが市民の生涯学習の拠点としての役割を効率的に果たすため、市関係機関、大学、民間企業等の学習ネットワークを活用しながら、市民ニーズに対応した講座、イベント、展示等を自主事業として開催することにより、生涯学習活動の推進及び生涯学習センターの認知度向上を図る。

ア 幅広い学習ニーズに合わせた講座等の実施

事業名称	内 容	
民間事業者等との連携による講座	民間事業者、NPO法人等との連携による、専門性・特色を生かした市民講座。市民の多種多様な学習ニーズに対応した講座を実施することにより、市民の学習意欲を喚起するとともに、生涯学習センターの利用促進を図る。	
	講座名等	予定回数
1	市民ニーズに合わせた講座の開催 [連携先団体] ・千葉市シルバー人材センター ・東京ガス（株） ・NPO法人障害者の就労を支援する会 ・NPO法人ハグミイ ・轟そばの会	5回 1回 1回 10回 4回

事業名称	内 容	
専門性、特色を生かした大学との公開講座	大学と連携し、高等教育機関の専門性、特色を生かした公開講座を開催することで、市内の生涯学習活動を促進するための学習機会を提供する。	
	講座名等	予定回数
	1 立正大学デリバリーカレッジ	3回
	2 淑徳大学コミュニティカレッジ	3回
3 東京情報大学看護学部公開講座	6回	
博物館、大学、市民団体等との連携による講座	市民の高度化、専門化する学習ニーズに対応するため、博物館、大学等の高等教育機関、NPO法人及び民間企業等と連携して、多彩な学習の機会を提供し、地域社会づくりに貢献する。	
	講座名等	予定回数
	1 生涯学習アカデミーちば 第2期 後期講座	10回
	2 生涯学習アカデミーちば 第3期 前期講座	10回
財団職員の専門性を生かした講座	市内の遺跡（埋蔵文化財）についての周知を図り、郷土の歴史等について興味・関心を持たせるための学習機会を提供する。	
	講座名等	予定回数
	1 埋蔵文化財に関する講座	
	(1) ちば埋文講座	2回
(2) 埋蔵文化財ロビー巡回展講座	2回	

イ 当センターをPRするために有効なイベント等の開催

事業名称	内 容	
千葉市中央図書館・生涯学習センター開設15周年のPR	千葉市の生涯学習拠点として、より一層認知度・利用率向上を図るため、千葉市中央図書館・生涯学習センターの開設15周年を記念し、各種主催事業の事業名称に「千葉市中央図書館・生涯学習センター開設15周年」と表記することで、開設15周年のPRを行う。	
生涯学習センター夏祭りの開催	生涯学習センターの認知度向上のために、アトリウムガーデン等でイベントを実施し、生涯学習センターへの集客を図る。	
	講座名等	予定回数
	1 千葉市生涯学習センター夏祭り	1回

事業名称	内 容	
千葉県園芸協会による新鮮野菜市の開催	千葉県園芸協会と連携し、定期的に野菜市を開催することにより千産千消を促進し、生涯学習センターへの集客を図る。	
	講座名等	予定回数
	1 朝市 in 生涯学習センターの開催	24回
音楽コンクール等の誘致	県内在住・在学者等が参加する音楽コンクール等の事業を誘致し、生涯学習センターの利用促進を図る。	
	講座名等	予定回数
	1 「第25回 ちば音楽コンクール」	5回
	2 「第9回 ちば映画祭」	3回

ウ 生涯学習情報の発信拠点となる展示の開催

事業名称	内 容	
ちばが学べる施設紹介展示	公的施設、高等教育機関及びNPO法人等の市民団体ごとに提供されていた「ちば」に関する情報を集約し、市民に提供することで、生涯学習の中核的施設としての役割を果たす。	
	講座名等	予定回数
	1 ちばが学べる施設紹介展示	1回
遺跡調査の報告展示	市内の遺跡等から発掘された埋蔵文化財や、発掘資料等を展示し、市民への周知を行う。	
	講座名等	予定回数
	1 写真で見る千葉市の遺跡展	1回
	2 埋蔵文化財ロビー巡回展	1回

③ (参考) 生涯学習事業に関する業務一覧

事業区分		事業名	講座名等	予定回数
指定管理受託事業	情報に関する整備・案内	生涯学習情報の収集・整理・提供（生涯学習広場の運営）		—
		普及啓発事業	センター情報紙「講座・イベント情報」の発行 他	15
	集資関連の図書収書	専門情報の収集・整備		—
		調査・資料室の運営		—
		蔵書管理システムの運用・管理		—
	習生相談	生涯学習相談員による相談の実施		—
		生涯学習相談員の養成		—
	「ちばカレッジ」		ちばde体験 他	20
	現代的課題学習	多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて取り組むテーマ	地球環境の保全 他	17
		キャリア教育の支援	キャリアプランニング講座 他	8
		家庭教育の充実に関する支援	家庭教育講座 他	42
		青少年の健全育成の支援	子どもチャレンジ教室 他	29
	郷土に関する事業	ちば縄文フェスタ連携事業	千葉県遺跡発表会 他	4
		市民向け歴史講座	埋文はじめて講座 他	2
		大人のための社会科見学	大人のための社会科見学	1
		子ども向け地域学講座	千葉県ものしり検定	3
		市民向け地域学講座	市民向け地域学講座	6
		埋蔵文化財に関する展示	加曽利貝塚整理速報展 他	2
		千葉県立加曽利貝塚博物館との連携講座	加曽利貝塚地域学講座	10
		千葉県立郷土博物館との連携講座	郷土博物館地域学講座	3
	指導者の養成	生涯学習指導者研修	基礎研修 他	9
		生涯学習施設職員研修	公民館職員研修	5
		生涯学習コーディネーターの養成	地域コーディネーター養成講座	1
	活動の支援	施設ボランティア（まなびサポーター）養成	基礎研修 他	2
		学習ボランティア活動支援	パソコン相談コーナー 他	170
	ボランティアセンターの運営	生涯学習ボランティアの登録受付・登録者名簿の作成・配布		1
登録ボランティアが編集する「情報紙」発行の支援			3	
ちば生涯学習ボランティアセンター登録者説明会			1	
ちば生涯学習ボランティアセンター登録者研修			2	
ちば生涯学習ボランティアセンターの普及・利用促進			—	
ボランティアフェアの開催			1	
受入れ研修生の	社会体験派遣研修	教職員	—	
	社会教育実習	大学生	—	
	インターンシップ	大学生、高校生	—	
	職場体験学習	中学生	—	
生涯学習に関する調査及び研究				—

事業区分		事業名	講座名等	予定回数	
指定管理受託事業 (続き)	パソコン講座	初級パソコン講座	公民館出前パソコン講座 他	202	
		中級パソコン講座	ワード講座 他	54	
		上級パソコン講座	ホームページ作成講座 他	25	
		デジタルビデオ編集講座	デジタルビデオ編集講座	6	
		市民自主企画パソコン講座	市民自主企画パソコン講座	40	
		施設ボランティアによる講座	施設ボランティアによる講座	116	
	視聴覚事業	視聴覚ライブラリーの運営	視聴覚ライブラリーの運営	—	
		視聴覚ライブラリーの収集・管理	視聴覚ライブラリーの収集・管理	—	
		16ミリ映写機操作講習会	16ミリ映写機操作講習会	1	
		視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施	木曜名画座 他	85	
		Web学習体験の実施	Web学習体験の実施	—	
	メディアリテラシーに関する学習		情報ツールの適切な利用方法に関する講座	2	
	情報端末機器の操作方法等に関する講座		情報端末機器の操作講習	3	
	市民の学習活動への支援	市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助	市民自主企画講座	36	
	学習成果の発表の機会確保	まなびフェスタの企画・実施	まなびフェスタ2016	2	
		学習成果の発表の機会の提供	高等学校演劇発表会 他	18	
		鑑賞機会の提供	やすらぎのアトリウムコンサート 他	10	
	指定管理受託事業 計				957
	自主事業	幅広い学習ニーズの実施	民間事業者等との連携による講座	市民ニーズにあわせた講座の開催	21
			専門性、特色を生かした大学との公開講座	立正大学デリバリーカレッジ 他	12
博物館・大学・市民団体等との連携による講座			生涯学習アカデミーちば	20	
財団職員の専門性を生かした講座			ちば埋文講座 他	4	
当センター等の有効なPR		千葉市中央図書館・生涯学習センター開設15周年のPR	開設15周年記念PR	—	
		生涯学習センター夏祭りの開催	千葉市生涯学習センター夏祭り	1	
		千葉市園芸協会による新鮮野菜市の開催	朝市 in 生涯学習センターの開催	24	
		音楽コンクール等の誘致	第25回ちば音楽コンクール 他	8	
生涯学習情報発信の拠点となる展示の開催		ちばが学べる施設紹介展示	ちばが学べる施設紹介展示	1	
		遺跡調査の報告展示	埋蔵文化財ロビー巡回展 他	2	
自主事業 計				93	
指定管理受託事業+自主事業 合計				1,050	

2 美術の振興に関する事業（公益目的事業2）

(1) 千葉市美術館管理運営事業

美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目指し、企画展・所蔵作品展を開催する。開館以来の経験と実績を生かした事業展開を目指し、今後の美術館発展の契機となるよう各展覧会テーマを策定・実施する。

また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフとの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会中に、講演会や子ども向け関連イベント等を開催することにより、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。

美術品収集、保存、調査研究事業、友の会運営事業等もあわせて行う。

① 指定管理受託事業

展示事業として「生誕 140 年 吉田博展」など各種企画展を 7 回、各種所蔵作品展を 5 回開催する。教育普及事業では、企画展に関連した講演会や、学芸員・ボランティアによるギャラリー・トーク、ワークショップを企画・実施する。

また、学校との連携として、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行うとともに、高等学校の利用の促進及び高校生向けプログラム等を実施し、教育普及事業の拡充を図る。

ア 収集・保存事業

(ア) 収集事業

千葉市と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

(イ) 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施すとともに、保存・保管に万全を期す。

イ 展示事業

「生誕 140 年 吉田博展」をはじめとする企画展及び市民展（第 48 回千葉市民美術展覧会）合わせて 7 回と、美術館所蔵作品展 5 回の合計 12 回の展覧会を実施する。マスコミ関係者などを対象とした団体の鑑賞や、学生の教育鑑賞を目的に、新たに団体鑑賞日及び教育鑑賞日を設ける。

(ア) 企画展

[企画展 1]

企画展名	生誕 140 年 吉田博展
期 間	平成 28 年 4 月 9 日（土）～ 5 月 22 日（日） 42 日間 展示替え休館日 4 月 25 日（月）
主 催	千葉市美術館／毎日新聞社
巡 回 先	郡山市立美術館、石橋美術館、上田市立美術館、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

内 容	明治から昭和にかけて風景画の第一人者として活躍した吉田博（1876-1950）の、生誕 140 年を記念した回顧展。豊富な在外経験のなかで、その高い技術は欧米の専門家をも驚嘆させている。水彩・油彩・木版その他資料を含む 200 点を展観する。
入場予定人数	16,000 人

[企画展 2]

企画展名	河井寛次郎と棟方志功 日本民藝館所蔵品を中心に
期 間	平成 28 年 7 月 6 日（水）～ 8 月 28 日（日） 53 日間
主 催	千葉県美術館／NHK プロモーション
巡回先	なし
内 容	陶芸家・河井寛次郎（1890-1966）と版画家・棟方志功（1903-75）の二人は、民芸運動を初期から支えた作家である。本展では交流が深かった二人の作家の作品を中心に、現代にも生き続ける近代日本の美意識を紹介する。
入場予定人数	15,000 人

[企画展 3]

企画展名	小川信治展
期 間	平成 28 年 9 月 7 日（水）～ 10 月 30 日（日） 53 日間
主 催	千葉県美術館
巡回先	なし
内 容	レオナルド・ダ・ヴィンチ、フェルメール、ゴッホの名画、誰もが知っている観光名所など、小川信治（1959-）は見慣れたイメージを極めて精緻な筆致で描き直す。けれどもそれらをよく見ると、本来あるはずの人や物が消されていたり、逆にあるはずのないものが描き加えられていたりして、見るものは不思議な感覚におそわれる。本展は首都圏の美術館では初の個展で、彼の代表作を紹介するとともに、教育普及的視点を取り入れた企画展とするものである。
入場予定人数	9,000 人

[企画展 4]

企画展名	見立ての手法－岡崎和郎の Who's Who
期 間	平成 28 年 9 月 7 日（水）～ 10 月 30 日（日） 53 日間
主 催	千葉県美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
巡回先	北九州市立美術館
内 容	現代美術家岡崎和郎（1930-）は、60 年代に詩人・美術批評家の瀧口修造に見出され、オブジェの発表を開始した。岡崎のライフワークであり、代表作でもある「Who's Who」のシリー

	ズを展観する展覧会である。60年代から現在まで続くこのシリーズは、デュシャン、瀧口修造、ジョーンズ、モンドリアンから、河原温、葛飾北斎、樋口一葉にいたるまで、岡崎が交流した作家、敬愛する作家の作品をパロディ的に変形させた一群のオブジェである。本展では、元となった作家の作品もあわせて展示する。
入場予定人数	9,000人

[企画展 5]

企画展名	文人として生きる一浦上玉堂、春琴・秋琴父子の芸術世界
期 間	平成28年11月10日(木)～12月18日(日) 37日間 展示替え休館日 11月28日(月)
主 催	千葉県美術館
巡回先	岡山県立美術館
内 容	浦上玉堂(1745-1820)は江戸時代後期を代表する文人画家・琴士である。その子春琴(1779-1846)は当時の京都で指折りの人気画家であったが、近代以降は父の影に隠れてしまった。次子秋琴(1785-1871)も音楽家として活躍している。本展は、知友との豊かな交流のあとを全国にたどり、文人としての矜持を高く保った父子の生涯とその芸術を総合的に展観する。特に浦上春琴に関しては初めての大規模な回顧展となる。
入場予定人数	14,000人

[企画展 6]

企画展名	ブラティスラヴァ世界絵本原画展—絵本の50年 これまでとこれから
期 間	平成29年1月4日(水)～2月26日(日) 52日間
主 催	千葉県美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
巡回先	うらわ美術館 足利市立美術館 岩手県立美術館 平塚市美術館
内 容	2年に一度スロヴァキア共和国の首都で開催される「ブラティスラヴァ世界絵本原画展(BIB)」。本展では25回目の開催(2015年秋)を機にBIBへの歴代参加作品の中から絵本の歴史50年を振り返る。1967年の設立から現在までBIBと日本の関係は深く、私たち自身と絵本との関わりに目を向けることとなる。展示後半部分では、グランプリをはじめとする第25回BIBの受賞作品及び日本からの出品作品を中心に紹介する。
入場予定人数	16,000人

[企画展 7] (市民展)

企画展名	第48回千葉市民美術展覧会
期 間	平成29年3月4日(土)～3月24日(金) 20日間
主 催	千葉市美術館／千葉市美術協会／千葉市文化連盟
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。
入場予定人数	16,000人

(イ) 所蔵作品展

[所蔵作品展Ⅰ]

所蔵作品展名	四季のうつろい・時のうつろい
期 間	平成28年4月9日(土)～5月22日(日) 42日間 展示替え休館日 4月25日(月)
内 容	常に自然のうつろいに美意識を感じてきた日本ならではの表現に焦点を当て、近世から近代の日本絵画及び版画で構成する小品展とする。
入場予定人数	16,000人

[所蔵作品展Ⅱ]

所蔵作品展名	ふたつの柱—江戸絵画／現代美術をめぐる
期 間	平成28年6月1日(水)～26日(日) 25日間
内 容	当館が所蔵する代表的な江戸絵画と現代美術を紹介する。
入場予定人数	8,000人

[所蔵作品展Ⅲ]

所蔵作品展名	河井、棟方の周辺—所蔵作品の現代美術に見る—
期 間	平成28年7月6日(水)～8月28日(日) 53日間
内 容	「河井寛次郎と棟方志功展」にあわせ、勅使河原蒼風をはじめとする現代美術作品を展示する。
入場予定人数	14,000人

[所蔵作品展Ⅳ]

所蔵作品展名	江戸時代の美術
期 間	平成28年11月10日(木)～12月18日(日) 37日間 展示替え休館日 11月28日(月)
内 容	所蔵品の中から、江戸時代の文人画などを展示する。
入場予定人数	14,000人

[所蔵作品展Ⅴ]

所蔵作品展名	春を寿ぐ 所蔵浮世絵名品展
期 間	平成29年1月4日(水)～2月26日(日) 52日間
内 容	企画展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」にもちなみ、世界で一番美しい絵本とも評される喜多川歌麿の絵本などを展示する。
入場予定人数	10,000人

* 上記の展覧会名は変更する場合があります。

ウ 教育普及事業

(ア)展覧会関連の各種講座やギャラリー・トークなど

講座等種別	内容	回数
ギャラリー・トーク	学芸員又はボランティアが展覧会の見所を分かり易く解説しながら、来館者と共に展示室で作品を巡る。	年間 60回程度
企画展関連の講演会	展覧会の内容に関わる専門の知識を持つ講師を依頼し、講演会を開催する。	企画展会期中 1～2回
市民美術講座	スライドを用いながら千葉市美術館のコレクションや展示の内容を分かり易く解説し、所蔵作品展及び展覧会への理解を深める。	年間10回
鑑賞補助ツールの制作と活用【拡充】	企画展にあわせ、主に若年層や美術の知識の少ない来館者を対象として、ワークシートやセルフガイドを制作し活用する。	展覧会ごとに (年間5～6回程度)
教育プログラム	美術館活動への興味と関心を深めるためのプログラムを実施する。	年間 4～5回程度
ワークショップ (学芸員中心)	教育普及担当の学芸員及び嘱託員が中心となって、企画実施する。	年間2～3回
ワークショップ (ボランティア中心)	多色摺木版画のワークショップが好評なので、引き続き、子どもを主な対象とした摺体験講座や、一般向けの年賀状制作講座を行う。	年間2～3回
ギャラリー・クルーズ	夏休みにふさわしい鑑賞プログラムを組み、子どもたちだけの来館を鑑賞リーダー(ボランティア)がサポートする。	夏休み期間中 2日程度

講座等種別	内容	回数
高校生向けプログラム	美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成する。	年1回
講師の派遣による講座	市内の学校、公民館などから美術講座の依頼があった場合に、学芸員を派遣する。	年間 5回程度
美術館公式ツイッターの運営【新規】	広報目的だけでなく、新しいニーズをつかみ、情報発信力を強化し、教育普及的視点でも活用する。	通年

(イ)学校との連携事業

種別	内容
小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業【拡充】	学校の生徒が美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアの鑑賞リーダーとともに6～8人のグループに分かれて展覧会を鑑賞する事業(年間20校程度)。学校の自主的な来館についても、同様の対応を行う。また特別鑑賞日を設定し、同日に鑑賞教育を実施する。
高等学校の利用の促進	高校生の利用を促進するため、千葉県教育研究会高校美術・工芸部会等を通して教職員への働きかけを行い、授業等での利用を促す。
中学生の職場体験学習	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。
千葉県図工・美術担当教諭一日研修	千葉県教育研究会・造形部会と協力し、美術館での鑑賞教育への理解を深める。
博物館実習	大学で博物館学芸員の資格を取得する学生の実習を受け入れ。夏期の1～2週間程度、美術館の仕事についてレクチャー、作品の扱いや展覧会企画立案などについて実習する。
千葉県教育研究会中学校造形部会との連携	中学校造形部会(美術科の教員)のグループメンバーと連携し、授業等での美術館活用案を検討し、実施する。

(ウ)美術館ボランティアとの協働

美術館ボランティア34人(平成27年12月現在)により、ギャラリー・トークを実施する。引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校

団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するほか、所蔵作品や展示作品を理解するための自主的なワークショップも行う。

また、勉強会や他館のボランティアとの交流等を通して美術館ボランティア全体のスキルアップに努める。

講座等種別	内容	回数
ギャラリー・トーク (再掲)	学芸員又はボランティアが展覧会の見所を分かり易く解説しながら、来館者と共に展示室で作品を巡る。	年間 60 回程度
鑑賞リーダー	少人数グループでの鑑賞。作品を前に子供とのコミュニケーションを重視した対話型トークを行う。	年間 40 回程度
ワークショップ (ボランティア中心) (再掲)	多色摺木版画のワークショップが好評なので、引き続き、子どもを主な対象とした摺体験講座や、一般向けの年賀状制作講座を行う。	年間 2～3 回
ボランティアのスキルアップ	「鑑賞リーダー学習会」、「もくもく会」、浮世絵・現代美術勉強会等	随時

(エ) 図書室の管理運営

市民が自ら調査研究することを支援する目的から、美術館図書室にふさわしい図書を中心に充実させるとともに、利用しやすくするよう努める。

予定公開日数：347 日

(オ) 地域との連携によるアウトリーチプログラム等

種別	内容
千葉アートネットワーク・プロジェクト (通称 <small>ウィキキャン</small> W i C A N)	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域 NPO、市内の小・中学校等と連携、市内外の芸術家を招いてアートイベント等を実施する。
千葉大学との連携	千葉大学の授業の中で、美術館を活用してもらい、学生参加の企画を発表する等の活動を実施する。
県内の美術館・博物館との連携	千葉市美術館は、千葉県博物館協会、近隣美術館会議などにおいても先導的な役割を果たしている。今後一層県内の美術館、博物館との連携力を強めて、企画や事業に生かす。

エ 調査研究事業

調査研究の成果について、研究紀要等をはじめとする出版物等をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

オ 「千葉市美術館友の会」運営事業【拡充】

市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、「千葉市美術館友の会」を運営する。また本年度より賛助会員制度を創設し、併せて積極的な団体会員の勧誘活動を行う。平成28年度は、友の会会員数2,000人、賛助会員数10件の入会を目指す。

イベント	内容	回数
友の会バスツアー	美術関連の様々なテーマを設定して、バスツアーを企画実施し、職員と会員や会員同士の交流を深める。	年1回

カ 施設維持管理業務

建築物保守管理業務、遠方監視業務、設備機器管理業務及び備品管理業務等、「千葉市美術館及び千葉市民ギャラリー・いなげ管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

キ 美術館ふれあい会議

美術館における展覧会事業、教育普及事業及び地域連携事業の実施に関し、利用者や、地域住民及び関係者等の意見を聴取するため、「美術館ふれあい会議」を開催する。

② 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすにあたって、指定管理受託事業を補完するための自主事業の企画は、きわめて重要であり、美術などの芸術文化に親しんでもらうため、講師派遣や多様なイベント等を実施する。

ア 講師派遣

内容	回数
市民・団体・大学等からの依頼に応じて、当館学芸員を展覧会や所蔵品に関わる美術講座の講師として派遣する。	年2～3回

イ イベント事業

普段美術に関心がない人でも展覧会を訪れるきっかけを提供し、美術館の認知度・利用率の向上に繋がるイベントを開催する。

イベント名	内容	回数
年始の獅子舞	年始の獅子舞による展覧会オープニングセレモニー。年初の恒例行事として実施する。	年1回
美術館で縁日気分！	8月の千葉の親子三代夏祭の開催日と時期を合わせ、さや堂ホールにて実施する。	年1回

イベント名	内容	回数
パフォーミングアーツイベント【新規】	空間を生かしたパフォーミングアーツイベントをさや堂ホール・活動室等で開催する。	年1回

ウ 地域連携事業

美術館の認知度・集客力を高めるため、千葉市美術館に近接した商店街や他の施設と連携して各種事業を展開する。

また、千葉市観光協会、千葉商工会議所等との情報共有を強化し、美術館友の会事業の推進と展覧会広報手段の拡大を図るとともに、地域に貢献できる連携事業についても協議推進する。

(2)千葉市民ギャラリー・いなげ管理運営事業

市民が世代やジャンルを超えて美術や文化に親しみ、交流できる「場」を目指し、地域商店街や各教育機関との連携をふまえた展覧会、講習会及びイベント等を企画・運営し、地域アート・文化の拠点としての事業を展開する。

① 指定管理受託事業

ア 展示事業

展示事業名	観光地・いなげ展～千葉市立郷土博物館連携事業～【新規】
期 間	平成28年7月5日（火）～7月17日（日） 12日間
内 容	郷土博物館所蔵の稲毛に関する資料を中心に展示する。
入場予定人数	600人

展示事業名	世界児童画展千葉展
期 間	平成28年8月2日（火）～8月7日（日） 6日間
内 容	「世界児童画展」優秀作品と千葉県の入選作品併せて約400点を展示する。同展には千葉市内の小学校16校、中学校12校から154点が入選した。
入場予定人数	700人

展示事業名	「創造海岸いなげ展」
期 間	平成28年8月9日（火）～8月21日（日） 12日間
内 容	千葉にゆかりのある若手作家の作品を紹介し、若い表現の可能性を稲毛から発信する。木工、写真、油彩画の若い作家3人展を計画している。
入場予定人数	800人

展示事業名	千葉市中学校美術部展
期 間	平成28年8月9日（火）～8月21日（日） 12日間
内 容	市内中学校美術部の合同展で17校の参加を予定している。同時期開催「創造海岸いなげ展」の若手作家とのワークショップ及びギャラリー・トークを開催する。
入場予定人数	800人

展示事業名	千葉大学連携事業 「アーティストと展示をつくる」展（仮称）
期 間	平成28年12月21日（水）～平成29年1月8日（日） 12日間
内 容	千葉大学普遍教育教養展開科目「アーティストと展示をつくる」の一環としての展覧会を開催する。
入場予定人数	500人

展示事業名	ギャラリー・いなげ新春展
期 間	平成29年1月4日（水）～1月15日（日） 11日間
内 容	当館ゆかりの地域の優れた作家による展覧会。日本画、油彩画、水彩画の他にフラワーアレンジメントの作家も参加する。
入場予定人数	800人

展示事業名	藤澤保子 漆芸の展開Ⅲ
期 間	平成29年1月4日（水）～1月15日（日） 11日間
内 容	大変好評であった27年度の展覧会に続き、漆芸家で研究者の藤澤保子氏が蒔絵、螺鈿などの卓越した技法と斬新なデザインで制作した珠玉の作品を展示する。
入場予定人数	800人

展示事業名	千葉県芸術文化新人賞受賞者展 牧田愛個展（仮称）
期 間	平成29年1月25日（水）～2月12日（日） 17日間
内 容	千葉県芸術文化新人賞26年度奨励賞受賞の牧田愛氏の油彩画を中心とした個展を開催する。
入場予定人数	1,000人

イ 美術に関する講習会等の開催

講習会名	春のスケッチ会
期 日	平成28年4月30日（土）
内 容	新緑の陽光に包まれた別荘を思い思いの画材で表現する（作品はロビー展示）。
対象・定員	幼児から大人まで 20人

講習会名	教職員を対象とした画材研修会
期 日	平成28年7月26日（火）
内 容	画材会社と連携した、学校現場の指導に役立つ研修会。画材の成分や特徴に応じた表現を楽しむ。
対象・定員	市内在勤教職員 20人

講習会名	教職員実技研修会
期 日	平成28年7月27日（水）・28日（木）
内 容	図工美術担当教員の表現力を高め、学校現場に役立つ題材を指導者とともに開発する。
対象・定員	市内在勤教職員 15人

講習会名	夏休み子ども美術講座
期 日	平成28年7月30日(土)・31日(日)
内 容	夏休みに自由でのびやかな造形表現を楽しむ。講師には子どもの表現に精通した小学校教員を迎える。
対象・定員	小学生 20人

講習会名	秋休み子ども美術講座
期 日	平成28年10月8日(土)・9日(日)
内 容	稲毛あかり祭「よとぼし」の夜、ギャラリー庭園に展示する灯ろうを作成する。
対象・定員	小学生 20人

講習会名	秋のスケッチ会
期 日	平成28年11月5日(土)
内 容	黒松との調和が美しい別荘や庭園を描く(作品はロビー展示)。
対象・定員	幼児から大人まで 20人

ウ 地域連携事業

(ア)稲毛あかり祭「よとぼし」夜間特別公開

事業名	稲毛あかり祭「よとぼし」夜間特別公開
期 日	平成28年11月下旬(予定)
内 容	地域商店街主催のあかり祭に参加する。当日の2日間庭園を夜間公開し、「秋休み子ども美術講座」及び「創造海岸いなげ美術講座」参加者が制作した「灯ろう」を展示する。 また、美浜区の小学校と連携し、図工の授業で「灯ろうづくり」を行い、その作品を展示する。この「よとぼし」を入りに、海の記憶がのこる稲毛の歴史と文化を紹介し、郷土への愛着に繋がるように努める。

(イ)稲毛お話し会

事業名	稲毛お話し会
期 日	平成28年7月、12月(予定) (2回)
内 容	稲毛の歴史や文化について、地域の方とともに情報を伝え合う。また、お話し会の様子や結果は、当ギャラリー発行の「海気通信」で広く市民に向けて発信する。

(ウ)千葉大学との連携

千葉大学と連携し、「カフェ kaiki」や「アーティストと展示をつくる」の受講生と講師による展覧会を開催する。

(エ)市内小中学校との連携

「稲毛一海の記憶」を伝えるために小学生向け「いなげ講座」を開催する。

また、中高生に対しては、企画展の招待作家によるギャラリー・トークやワークショップを通して美術の楽しさを伝える。

その他、中学校職場体験の受入れ、中学校美術部展、世界児童画展、教職員向けの講座等を通し連携を深めていく。

エ 施設貸出業務

(ア)市民ギャラリー・いなげ施設貸出業務

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等への貸出しを行う。

㊦ 開館時間

- ・展示室 午前9時～午後5時15分
- ・制作室 午前9時～午後9時

㊧ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

<開館日数、目標人数>

区 分	開館日数	目標入館者数	施設稼働率
展示室	308日	22,000人	50%
制作室	308日	16,000人	

㊨ 施設利用料金

施設名	区 分	6日間
第一展示室 (64 m ²)		9,600円
第二展示室 (41 m ²)		6,480円
第三展示室 (41 m ²)		6,480円

施設名	区 分	午前 9:00～13:00	午後 13:00～17:00	夜間 17:00～21:00
第一制作室 (41 m ²)		520円	520円	520円
第二制作室 (64 m ²)		800円	800円	800円
第三制作室 (12畳+4畳半)		520円	520円	520円

(イ)旧神谷伝兵衛稲毛別荘の公開業務

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録有形文化財で歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

公開にあたっては、市民、特に次代を担う子どもたちに、貴重な文化遺産に親しむことにより郷土の豊かな歴史や文化への関心を高め、千葉市民であることに誇りを持つことができるように積極的な広報に努める。

㊦ 公開時間

- ・午前9時～午後5時15分

㊧ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

<公開日数、目標人数>

区 分	公開日数	目標入館者数
旧神谷伝兵衛稲毛別荘	308日	12,000人

オ 施設維持管理業務

建築物保守管理業務、設備機器管理業務及び備品管理業務等、「千葉市美術館及び千葉市民ギャラリー・いなげ管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

カ 広報

(ア)印刷物の発行

施設及び事業内容周知のために以下の印刷物を来館者はじめ各公共機関、学校、商店街等に配布する。

- ・「千葉市民ギャラリー・いなげ」のパンフレット
- ・「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」のパンフレット
- ・周辺散策マップ（スタンプラリー）
- ・「海気通信」（別荘の古建築としての特徴と魅力、稲毛の歴史・文化に関する情報を発信）
- ・「べっそうのネコから」（小学校3年生向けの学習資料）

(イ)ホームページの充実

ホームページの内容を充実させ、ブログ、ツイッターでの発信を行い市民の声を事業改善に反映できるように努める。

キ ボランティアとの協働

当ギャラリーの運営にあたって、ボランティアの活用など市民と協働し、更なる施設の活性化を目指す。

(ア)花壇ボランティア

来館者の憩いの場である当ギャラリーの庭園の維持管理を花壇ボランティアとともに行う。

(イ) 芸術ボランティア

企画展、講習会、イベント等で、多様な人材を活用する。

ク 利用者懇談会

施設の維持管理及び事業に関し、地域の人々や利用者と意見交換を行う。
懇談会は地域の学校関係者、地元商店街関係者、学識経験者及び施設利用代表者等で構成する。

② 自主事業

当ギャラリーの認知度を高め、多くの市民の利用促進を図るため、当ギャラリーの特色を生かした自主事業を実施する。

ア 講習会等の開催

講習会名	山口マオ 版画ワークショップ
期 日	平成28年6月11日(土)
内 容	イラストレーターで絵本「わにわに」シリーズで著名な山口マオ氏を講師に招き、一日で下絵から刷りまで完成させる木版画のワークショップを行う。
対象・定員	中学生～大人 30人

講習会名	和装マナー親子教室【拡充】
期 日	平成28年6月4日(土)から 年12回実施予定
内 容	和服の着付けを中心に、茶道(親子お茶会)、華道、書道、年賀状の書き方など日本の伝統文化を総合的に伝える。
対象・定員	小中学生の親子 30人

講習会名	写真撮影講座
期 日	平成28年9月24日(土)・11月19日(土)
内 容	写真家白井綾さんの「初心者のための入門講座」と佐藤信太郎さんの「夜景の撮り方」のワークショップを開催する。
対象・定員	高校生～大人 各日20人

講習会名	創造海岸いなげ美術講座
期 日	平成28年10月1日(土)・15日(土)・22日(土)・11月12日(土) (全4回)
内 容	地域住民のニーズに応じた美術講座。「キッチングッズ作り」、「色であそぼう」、「灯ろうづくり」などを行う。また、受講者によるサークルづくりを支援する。
対象・定員	大人 15～20人

3 埋蔵文化財の保護及び調査並びに普及啓発に関する事業（公益目的事業3）

土地の開発等により失われつつある埋蔵文化財を歴史的遺産として後世に伝えるため、埋蔵文化財の適正な保護及び調査を行うとともに、埋蔵文化財の意義並びに保護に関する普及啓発活動を行うことにより、市民が地域の歴史文化への理解を深め、郷土意識の醸成を図る。

① 埋蔵文化財の発掘調査事業（受託事業）

ア 埋蔵文化財の調査・整理・報告書刊行

埋蔵文化財を記録として保存するため、発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	時代	
1	国庫補助事業				
	市内遺跡再整理事業	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
2	公共事業	千葉市	きどさく 木戸作遺跡	縄文・古墳 奈良・平安	平和公園拡張工事に伴う 発掘調査。4,000 m ²
3	民間事業				
	民間事業者の開発に伴う発掘調査	民間事業者	市内全域		突発的な調査依頼に対応

② 文化財普及事業（受託事業）

発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらい、埋蔵文化財保護思想を培うとともに埋蔵文化財の調査成果と収蔵資料を有効に活用するため、各種展示、講座等を行う。

ア 埋蔵文化財ロビー巡回展等

事業名	埋蔵文化財ロビー巡回展
期間・回数	平成28年11月～平成29年2月（5回）
場所	千葉市生涯学習センター、千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉市中央図書館、千葉市民ギャラリーいなげ、千葉市立郷土博物館（計5か所）
内容	遺跡の発掘調査成果（遺物や写真資料など）を通して、市民に対する地域史理解の充実を図ることを目的とした展示を行う。また、展示期間中に講座（2回程度予定）を実施する。

事業名	市内出土品展
期間・回数	平成28年7月～8月（1回）
場所	千葉市生涯学習センター
内容	市内出土の埋蔵文化財の中から有意な遺物等を選定し、紹介・

	解説を行う（千葉大学文学部考古学研究室との連携による展示を予定）。 また、展示期間中に講座（2回程度予定）を実施する。
--	--

事業名	パネル展
期間・回数	平成28年5月～平成29年1月（2回程度）
場所	千葉市生涯学習センター、そごう千葉店
内容	市内の主要な遺跡を、写真・文字パネルで紹介する。

事業名	生涯学習センター自主事業「ちばが学べる施設紹介展示」へのパネル展示（生涯学習センターとの連携事業）
期間・回数	平成28年4月～5月（1回）
場所	千葉市生涯学習センター アトリウムガーデン
内容	千葉市埋蔵文化財調査センターとその事業を市民に周知するため、調査や普及活動の様子を、写真を通して紹介する。

事業名	千葉市埋蔵文化財調査センター収蔵品展【新規】
期間・回数	平成28年5月～平成29年3月（常設）
場所	千葉市生涯学習センター
内容	市内で発掘調査された遺跡の出土遺物を、写真・文字パネルと併せて紹介し、市民に対する地域史理解の充実を図ることを目的とした展示を行う（展示内容は年3回程度入替予定）。

事業名	千葉市緑図書館埋蔵文化財展示【新規】 （千葉市緑図書館との連携事業）
期間・回数	平成28年8月（1回）
場所	千葉市緑図書館
内容	千葉市緑区内で発掘調査された遺跡の出土遺物を、写真・文字パネルと合わせて紹介する。

イ 学校・生涯学習施設との連携

（ア）出前授業

小・中学校及び公民館等に出向き、様々な体験学習指導を行う。

なお、夏休み期間中には千葉市埋蔵文化財調査センター及び千葉市生涯学習センターで「夏休み古代体験講座」（小学生向け）を実施する。

また、千葉市生涯学習センター主催のまなびフェスタ 2016 や千葉市教育委員会主催の千葉市遺跡発表会に合わせて実施される「古代の生活にふれる体験教室」の中でも各種体験学習指導を行う。

事業名称	内 容	予定回数
勾玉づくり	軟質な石材（滑石）を使った勾玉作り体験を職員が指導する。	14回
火起こし	道具としての火の話をふまえて、弓ぎり法などによる火起こし体験を行う。	19回
土器に触れる	本物の土器や石器を用いて、見て、聞いて、触る体験学習を行う。	14回
講座	学校での授業補助として周辺の遺跡についての解説などを実施する。	2回
組紐づくり	古代から伝承されている技法を用いて組紐づくり体験を行う。	8回

(イ) 千葉県埋蔵文化財調査センターにおける展示解説等

千葉県埋蔵文化財調査センターを訪れた学校や各種団体に対し、展示室及び大覚寺山古墳の現地解説等を行う。

(ウ) 講師派遣

公共施設や市民団体などの依頼を受けて職員を講師として派遣し、埋蔵文化財に関する講義を行う。

(エ) 千葉県主催事業との連携【新規】

千葉県教育委員会生涯学習部文化財課主催の「ちば縄文フェスタ」、千葉市立郷土博物館主催の「鎧着用体験」や千葉市立加曾利貝塚博物館主催の「縄文ムラ祭り」の中でも各種体験学習指導を行う。

ウ 講座の開催

千葉県生涯学習センターと連携して講座を開催する。

講座名	ちば埋文講座
期間・回数	平成28年7月～8月 2回
場 所	千葉県生涯学習センター 小ホール
内 容	市内出土品展の展示内容に関わる講座を行う。 生涯学習センター自主事業「財団職員の専門性を生かした講座」との連携事業。

講座名	埋文はじめて講座
期間・回数	平成28年9月～10月 2回
場 所	千葉県生涯学習センター 小ホール
内 容	埋蔵文化財に関わる様々なテーマを、市内出土の埋蔵文化財の紹介・解説を通して、考古学の基礎的な考え方などを講義する。 生涯学習センター指定管理受託事業「郷土に関する事業」との連携事業。

講座名	埋蔵文化財ロビー巡回展講座
期間・回数	平成28年11月～12月 2回
場所	千葉市生涯学習センター 小ホール
内容	埋蔵文化財ロビー巡回展の展示内容に関わる講座を行う。 生涯学習センター自主事業「財団職員の専門性を生かした講座」との連携事業。

4 生涯学習施設貸与事業（収益事業1）

（1）千葉県生涯学習センター管理運営事業

① 指定管理受託事業

ア 施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の貸出しのうち、物品の販売その他の営利を目的として利用する場合で基本の利用料金に100分の80を乗じて得た額の割増料金を徴収する貸出しに関する業務を収益事業として実施する。

5 美術館物品販売等事業（収益事業2）

（1）千葉県美術館管理運営事業

① 指定管理受託事業

ア 施設貸出業務

市民ギャラリー・さや堂ホール・講堂・講座室を団体等へ貸出しを行う。
さや堂ホールは、貸しホールとして活用のほか、企画展の関連イベント等でも積極的な活用を図る。

（ア）開館日

次の休館日を除く通年開館とする。

- ・毎月第1月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

（イ）開館時間

施設名	開館時間
市民ギャラリー	午前10時～午後6時 (金・土曜日は午後8時まで)
さや堂ホール・講座室・講堂	午前10時～午後9時

（ウ）利用料金

㊦ 施設利用料金

施設名	区分	午前 10:00～13:00	午後 13:00～17:00	夜間 17:00～21:00	全日 10:00～21:00
市民ギャラリー		1日につき 9,430円			
さや堂ホール		6,600円	8,800円	8,000円	21,000円
講堂		3,450円	4,600円	4,150円	11,000円
講座室		1,560円	2,080円	1,850円	5,000円

① 附属設備利用料金

施設名	種類	単位	金額
市民ギャラリー	スポットライト	1個1日につき	100円
	可動パネル	1台1日につき	100円
さや堂ホール	放送設備	1式1時間につき	410円
	音響設備	1式1時間につき	410円
講堂	放送設備	1式1時間につき	300円
	音響設備	1式1時間につき	300円
	映写機(A)	1式1時間につき	200円
講座室	映写機(B)	1式1時間につき	100円

(エ) 稼働率目標

以下の方策を実施し、施設全体で稼働率48%を目標とする。

- ・ ホームページでのPR
- ・ 電子申請の導入（ちば施設予約システムへの参加）
- ・ 全日利用及び夜間利用の割引料金の設定

平成28年度から夜間利用料金の割引を新たに設定し、夜間利用の促進を図る。

イ 特別利用許可業務

美術館に保管されている美術品等について、熟覧、模写、模造、撮影又は写真原版の貸出しを行う。

(ア) 利用料金

区分	単位	金額
熟覧	1回1点につき	510円
模写		1,030円
模造		1,030円
撮影		3,130円
写真原版の利用		2,080円

ウ 企画展図録等販売業務

企画展毎に図録・ポスターを作成、販売することにより展覧会の魅力を高め、来館者には記念となる商品を提供する。

② 自主事業

ア 美術館関連商品販売業務

美術館のオリジナルグッズ等を作成、販売することにより収益の向上を図るとともに、美術館の魅力を高め、美術の振興に寄与する。

